

平成16年3月期

第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月3日

上場会社名 科研製薬株式会社

(コード番号:4521 東証第1部)

(URL http://www.kaken.co.jp/)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 乾 四朗

責任者役職・氏名 取締役経理部長 高松 信一

(TEL:(03)5977-5007)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 売上高 (単位:百万円未満切捨)

	百万円	%
16年3月期第3四半期	55,096	
15年3月期第3四半期		
(参考)15年3月期	74,002	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

当期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載していません。

[売上高に関する補足説明]

当期間におきましては、健康保険本人の負担割合の引き上げや入院包括化の推進等、医療費・薬剤費の抑制策が浸透するなか、平成16年4月に実施予定の薬価改定を控えて厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、確実な情報提供を基本として、適正使用の推進に努めるとともに、市場の拡大に努力をいたしております。

医療用医薬品につきましては、主力品の関節機能改善剤「アルツ」は堅調に売上を伸ばしましたが、慢性動脈閉塞症治療剤「プロサイリン」、鎮痛消炎貼付剤「アドフィード」は厳しい状況で推移いたしました。一方、創傷治癒促進剤「フィブラストスプレー」は着実に市場に浸透しております。高脂血症治療剤「リパンチル」、医療用具の合成吸収性癒着防止材「セブラフィルム」は順調に売上を伸ばしました。

農工薬品につきましては、需要の低迷に伴う価格競争の激化等、厳しい業界の環境下で減収となりました。

以上の結果、売上高は550億9千6百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
通 期	百万円	百万円	百万円	円 銭
	73,700	5,700	3,000	32 42

(注) 1株当たり予想当期純利益は、平成15年12月末の発行済株式数に基づいております。

平成15年11月14日の平成16年3月期中間決算発表時の業績予想を変更していません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。